## 事例 その3 療額

無低診も適応できませんでし

朝から晩まで、働いていた営

認めてほしいと思います。

(耳原鳳クリニック)

60代、

30年ほどになります。糖尿病は 支障がないため、認識されにく 目覚症状がなく、生活や仕事に Kさんは、糖尿病と診断され

糖尿病と認識したと言います。 い病気です。合併症が現れて、 **たKさんは、「年齢が高くなる** 転職、失業、再就職を経験し でない状態でした。

医療費、特にインスリン注射

いつ何が起こっても不思議

と薬の費用が、安くならないか と相談を受けましたが、大阪府

悪くなる。失業してから、収入 につれ給与は低く、労働条件が

はまだ認められていないのが現 過しており、鳳クリニックでの 内の調剤薬局では無低診の事業 相談時の収入では、基準を超 なっています。

特定疾病療養受療証 受ける場合、外来・入院それぞ や障がい者医療証で公費負担と れの窓口での1ヶ月の支払い限 **皮額が所得により決まるもの)** (血友病・人工透析) で医療を (特定疾病

元営業マン

が半分に減り病院へ行けなかっ た」と振り返ります。 診察を中断していた期間があ 当院へ転医されてきた時

た。

り、医療機関と薬局の費用は の適応となりました。現在、老 松で透析治療を受けられてお クリニックの医療費は、無低診 ますが、さらに収入が減り、 その後、警備会社に再就職し

> ない病気、しんどくなってから 病は、一生つきあわないといけ

業マン時代を振り返り、

しか気づけなかった」と話され

併症を予防するなどのコントロ 気で、怖い病気ではありませ ルができれば、改善できる病 糖尿病は治療中断せずに、合

ころもあります。堺市でも今 低額診療事業を実施していると れることを、Kさんの経過を诵 い、薬局にも行けない人がおら して実感しました。 他市では、調剤薬局にも無料 お金がないので病院に行けな 総合病院エリアでは 10月より

### 予約なしの一般内科外来は 高砂クリニックで対応いたします

これまで

#### 耳原総合病院 内科外来

- ・急な発熱、急な体調不良など
- ・紹介状をお持ちの方
- 初めて受診される方

#### みみはら高砂クリニック 内科外来

· 定期通院(予約診療)



#### 2014年10月1日(水)から耳原総合病院 の内科は「紹介外来」に変わります

#### 耳原総合病院 内科紹介外来

紹介状をお持ちの患者 さま

※救急車受入れ(24時間)・救命 救急医療・入院医療は従来と変 わりません。

#### みみはら高砂クリニック 内科外来

- ・初めて受診される方 (紹介状をお持ちでは ない方)
- ・急な発熱、急な体調不 良など
- · 定期通院(予約診療)

ER (救急外来) → 従来通りです

その他の診療科・予約診療 → 従来通りです

現在、国と厚労省は「患者の白

【お問い合わせ】

すが、同仁会・耳原総合病院は

覚士46名が勤務しています。 学療法士、作業療法士、言語聴

現在、耳原総合病院には理

「無差別平等」の理念を掲げ、紹

を求めることが可能となっていま 持参しない患者」には保険外負担

保険外負担の徴収を行ってきませ 介状を持たない初診患者さまにも

リを提供しています。地域 棟を開設し、365日リハ

リを提供しています。地域の棟を開設し、365日リハビ・昨年10月回復期リハビリ病

しかし、厚労省はこれまでの規

れています。

8割以上の方が在宅に復帰さ サービス事業所とも連携し、 耳原総合病院 サポートセンタ・

> ます。200床以上の多くの病院 受診の規制」を強めようとしてい 己負担増」「大規模病院への外来

が厚労省の施策に沿い

「紹介状を

電話(代表)072-241-0501

りつけの患者さま



●普段、同仁会の各診療所にかか

それぞれの事業所に相談 してください

●普段、開業医の先生にかかりつ けの患者さま



まずはかかりつけの医師 に相談をして下さい

険から外してしまう仕組みを導入 制をさらに強める方針を打ち出 合病院の内科外来は紹介状をお持 にしました。これに伴い、耳原総 診した場合、診察料そのものを保 ちの方が対象となります。なお、 くために10月1日より総合病院・ に自己負担少なく受診していただ しようとしています。 し、紹介状を持たずに大病院を受 ーックに移行させていただくこと 般内科外来での診療を高砂クリ 同仁会は、できるだけ患者さま

トセンターにお問い合わせくださ 詳しくは、耳原総合病院サポ- け入れを行います。

夜間・ 休日をはじめとしたER

(救急外来)はこれまで通りの受

# こんに方は! 事業所だよい。4



班会の様子

い」との印象がありますが、

リハビリは「つらい」「痛

に貢献しています。

ットーに、皆様の笑顔を取り 心できる治療技術の提供をモ 笑顔で挨拶、丁寧な説明、安

戻せるよう頑張っています。

4 が国から求められてい 制のため入院期間短縮 し、安心してご自宅へ作を可能な限り維持 作を可能な限り維 その中でも日常生活動 ます。リハビリ室は、 退院できるよう、入 後3日以内にリハビ 体操を行い地域の健康づくり 友の会の班会などで転倒予防 名の方が登録されています。 ハビリ」を開始し、現在は60 **動や生活指導を行う「心臓リ** と安全な社会復帰を目標とし より心臓病に対し、再発予防 を開始しています。 て、医師・看護師と協力し運 また、専門知識を活かし、 専門分野では、2011年

クリスマス会(回復期リハビリ病棟)

# 耳原総合病院リハビリテーション科 在宅復帰を



〒590-8505 堺市堺区協和町4丁465番地 TEL 072-241-0501(代) URL http://www.mimihara.or.jp/sogo/